

2016年8月18日

報道関係各位

中部学院大学  
中部学院大学短期大学部

## 岐阜県障害者スポーツ協会と包括連携協定

### 「障害者スポーツの普及・発展」「競技者の社会参加と福祉向上」など

中部学院大学（学長 古田 善伯）ならびに中部学院大学短期大学部（学長 片桐 多恵子、以下大学）は、一般社団法人岐阜県障害者スポーツ協会（会長 岡本敏美、以下協会）と連携協定を結ぶことになりました。

本学はこれまで、2012（平成24）年に岐阜県で開催された全国障害者スポーツ大会「ぎふ清流大会」で学生がボランティアスタッフとして関わったり、障害者のアスリートを受け入れたりするなどしてきました。また、**2017（平成29）年度には、スポーツ健康科学部（認可申請中）を新設する予定**にしており、これまで実践してきた福祉、健康、教育、医学分野とコラボレーションした研究とともに、それらの活動を通して、障害スポーツに寄与する学生の養成をしていきます。

今回の協会との包括連携協定では、**「障害スポーツの普及、発展」「障害者スポーツ競技会などの運営協力」「競技者のスポーツ傷害の予防とケア」「競技者の社会参加と福祉の向上」「学生育てと研究」**などを中心に、障害者が「いつでも、だれでも、どこでも、気軽に」参加できるスポーツの環境づくりを推進し、**より多くの障害者がスポーツの楽しさを体験し、スポーツを通じた障害者の社会参加促進を図るとともに、障害者スポーツに対する理解の拡大を目指します。**

記

#### 【連携協定締結式】

- 日時 2016（平成28）年8月31日（水）午前10時30分～
- 場所 岐阜県福祉・農業会館 5階 南会議室  
岐阜市下奈良 2-2-1 電話 058-273-1111
- 日程 開会（午前10時30分～）  
中部学院大学学長あいさつ  
中部学院大学短期大学部学長あいさつ  
岐阜県障害者スポーツ協会会長あいさつ  
協定書署名  
写真撮影  
閉会

- 出席者 岐阜県障害者スポーツ協会 岡本 敏美 会長  
中部学院大学 古田 善伯 学長  
中部学院大学短期大学部 片桐 多恵子 学長 ほか

■ 具体的な連携活動内容

(1) 障害者スポーツの普及、発展に関すること

障害者がスポーツを行う環境の整備が遅れている。このため、障害者スポーツの普及を図るため、イベントの開催や指導員の養成を協力して行う。また、障害者スポーツを通して地域の活性化に共に貢献する。

(2) 障害者スポーツ競技会等の運営協力に関すること

スポーツ協会が行う競技会に、ボランティアとして学生、教職員を派遣する。

(3) 競技者のスポーツ傷害の予防とケアに関すること

運動を行う時には傷害予防の観点から、選手に対するケアが重要だが、ほとんど行われていないのが現状である。本学は理学療法士を養成する理学療法学科を設置し、実践力を磨く施設や設備も充実している。また、スポーツ選手のコンディショニングに関する研究会なども教員を中心に行われており、傷害・予防に対して貢献できる。

障害者スポーツ選手はけがをしやすい環境にあるため、外傷・障害のケアを含め、競技への早期復帰、けがをしないためのトレーニングのノウハウを共有し合うことで、スポーツ選手のさらなる選手力の向上を目指すことができる。

(4) 競技者の社会参加と福祉の向上に関すること

障害者スポーツを楽しむ人は、競技者を含めて生活者である。スポーツ以外に生活者として生活や医療、仕事、教育などに関わりを持っている。本学は福祉の大学として、協会関係者の福祉と教育、健康を支援する。

(5) 学生育てと研究に関すること

大学が行う教育研究活動に協力して、インターンシップ、実習の受け入れ、指導者・講師の派遣等を行う。また、大学教員に研究の機会を提供し共同して研究にあたる。

以上

(本件に関するお問い合わせ先)

中部学院大学教育研究支援部研究支援課 担当：浅野

TEL:0575-24-2238 (関キャンパス) Mail : chiiki@chubu-gu.ac.jp

■ 参 考（本学の概要など）

大学院、大学 4 学部 5 学科、短期大学部 2 学科 1 専攻、通信教育部、留学生別科

- ・ 大学院＝人間福祉学研究科修士課程、博士課程
- ・ 大 学＝人間福祉学部人間福祉学科、同通信教育部  
教育学部子ども教育学科  
看護リハビリテーション学部理学療法学科、同看護学科  
経営学部経営学科
- ・ 短期大学部＝幼児教育学科、社会福祉学科、専攻科（福祉専攻）